

令和5年3月23日

守谷市議会議長 殿

委員長 渡辺 秀一 印

報告者 小菅 勝彦 印

都市経済常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	令和5年2月1日 (水)	
視察・研修場所	北海道北広島市	
視察・研修項目	「ボールパークを生かしたまちづくり」について	
参加者	守谷市側	※別紙参照
	相手側	※別紙参照
視察・研修目的	総合公園（ヤクルト2軍施設）等の施設を生かした守谷のまちづくりの参考にする。	
視察・研修内容	※別紙参照	
視察・研修総括 (今後の取組み等)	ボールパーク構想は北広島市にとって大きな事業であるが、丁寧に進められていて、パートナーであるファイターズとの関係も良好であることが確認できた。 今後の守谷市総合公園計画において、ヤクルト球団側とどのように進行していくのか確認して行きたい。	

## 視察・研修内容

2023年2月1日 13:40 より北広島市役所にて  
説明はボールパーク推進課課長 柴 清文様

### ボールパーク誘致の経緯と経過説明

平成 27 年 10 月、官民連携による総合運動公園整備の調査検討を開始  
平成 27 年 12 月、プロの試合も可能な野球場についてファイターズと意見交換  
平成 28 年 5 月、ファイターズの新球場構想が報道  
平成 28 年 6 月、議会定例会において、市長が新球場誘致について表明  
ファイターズ球団事務所を訪問し誘致活動を行う旨の申し入れ  
平成 28 年 12 月、日本ハムとファイターズにより具体的な調査検討会しを発表  
北広島市からファイターズへ提案書を提出

上記経緯から、北広島市の目指す都市像とファイターズの企業理念の方向性が一致することを確認、ボールパーク・スポーツを核とした協働によるまちづくりが始まることになる。

その後平成 29 年 1 月から平成 30 年 3 月の間に誘致における協議(候補地、行政手続き、整備手法など)を 17 回実施、まちづくりの将来像を共有できたとのこと。

平成 30 年 3 月 26 日、新球場建設候補地が「きたひろしま総合運動公園予定地」に決定  
平成 30 年 10 月 31 日、新球場建設が正式に決定する

きたひろしま総合運動公園(36.7hr)内に新球場を建設するが、球場建設はファイターズ側が行うとのこと。

新たなまちづくりの将来像として、ボールパークは「北海道・地域のシンボル」「新たな産業集積・起業促進、消費・雇用拡大」「コンパクトで健康な新たなライフスタイルの展開」「地域の持続的成長(夢・愛着と挑戦を育むまち)」を掲げ、新球場の開業を先行させ、ボールパーク内を F ビレッジエリアとし、ホテル、シニアマンション、分譲マンション、キッズ公園等の付帯施設の設置。ボールパーク外で、主要アクセス道路の設置、既存道路の改修、鉄道アクセスとして JR 北海道千歳線に新駅の設置、新駅北側の開発、北広島駅の改修等を行い、最終的な完了を 20 年後としている。

以上

## 参加者名簿

### 守谷市

都市経済常任委員会 委員

渡辺 秀一・砂川 誠・伯耆田 富夫・寺田 文彦・梅木 伸治・小菅 勝彦

議長

高橋 典久

都市整備部長

飯塚 敏雄

議会事務局

岩地 祐子

### 北広島市

市議会 議長

滝 久美子 様

ボールパーク推進課 課長

柴 清文 様